

地味チョウシリーズ⑩追加2(つじ)

180823

安平・美沢ウスイロP ヤマ・サトキマの夜

この日は、午前中永盛さんと安平の幼虫調査を行い、尾根・下の林道沿いで幼虫を見つけることが出来た。

昨年(17/9/19)、尾根でヤマキマの終齢幼虫の夜間摂食を見ることができていたので、夜間の若齢たちも見ることができるので？と観察することにした。

前回(8/10)、尾根では何も見つからず、下の林道沿いではいくつか卵塊をみつけることができ、ウスイロPではサトキマ1齢幼虫集団を見ることができていた。

尾根でヤマキマ、林道でサトキマ、ウスイロPでサトキマ、それぞれ中心になっているとして考えて観察している。



←明るいうちに安平に着く。下の方が暗くなるのが早いかもなので、最初に下の林道(以下林道)へ。午前に見た箇所で幼虫が出ていないことを確認した。(17:41)

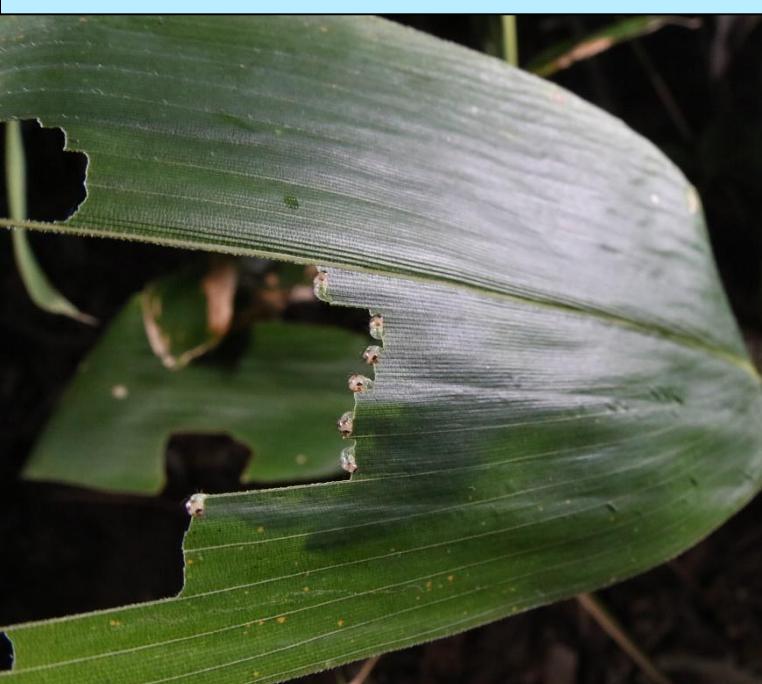
その後送電線の尾根(以下尾根)へ。

明るいうちに尾根に到着。
入り口の左側に、即発見。葉に登っている
(1↓)。

そのそばの葉の裏に幼虫が2つ(2&3→)。
一つは葉の真ん中に。
暗くなる前に登っておくのかもしれない。



安平尾根のヤマキマ

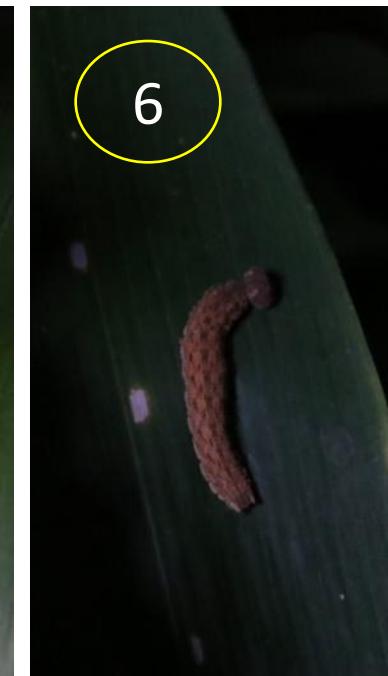
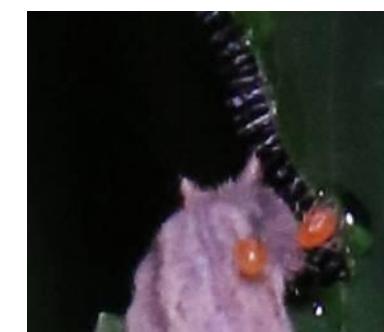


「そうそう...」と思い、1齢幼虫群に。
まだ明るいうちから既に食べ始めていた。
(←18:18)
撮影していると、だんだん暗くなってくる。

探し始めた。まず発見(4)。摂食している。(19:03)
よく見ると、脱皮後の頭殻が。二齢か。

続いて、葉の表に。(5&6 19:09)

立て続けに葉の表。
今度は摂食中(7 19:11)
何か頭についている。菌類？



4

5

6

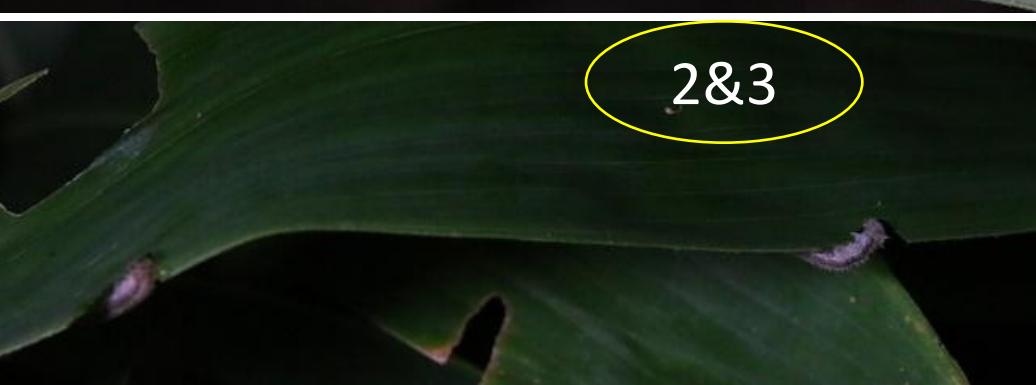
7

安平尾根のヤマキマ

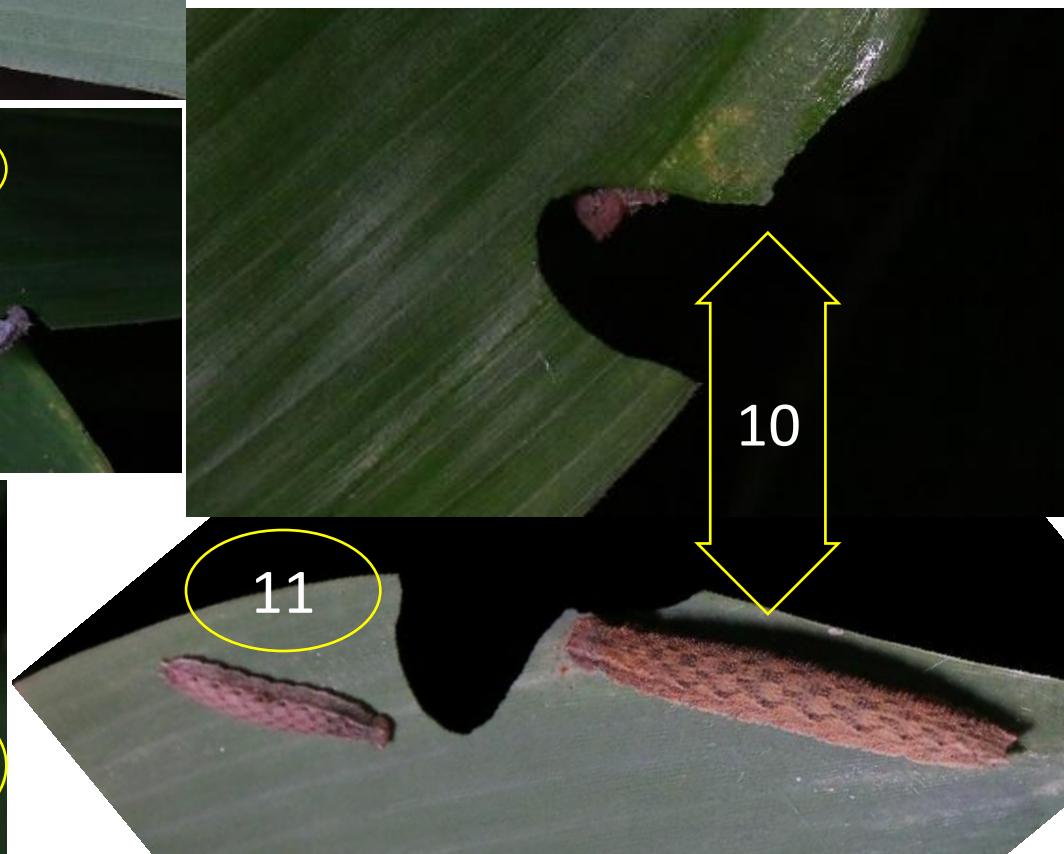


そうしているうちに、周りは暗くなり、今度は葉裏から摂食中。(8 19:13)

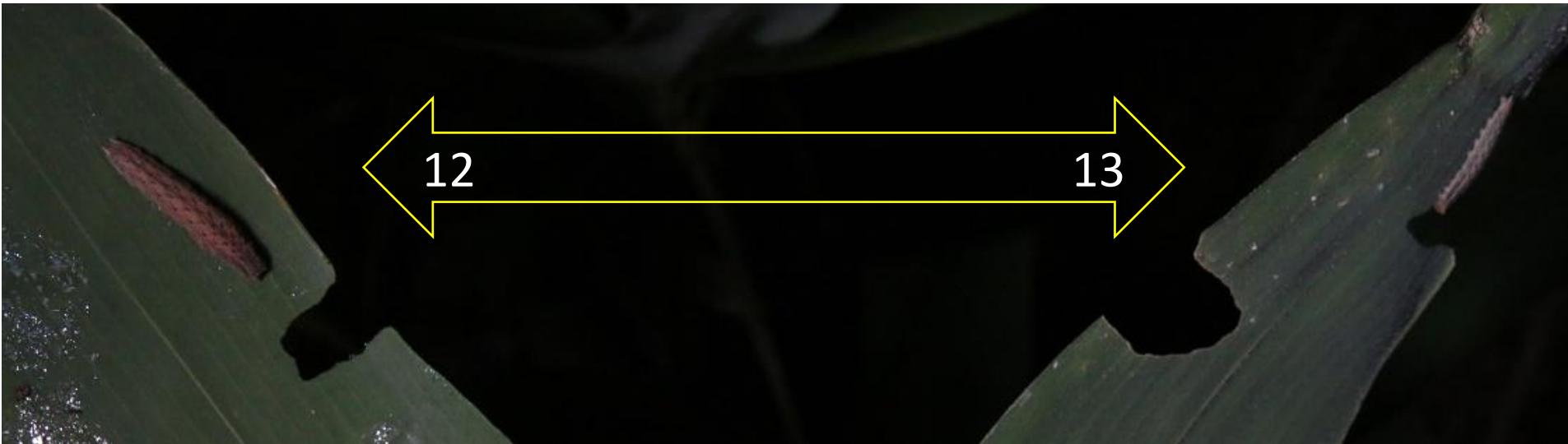
入り口の二頭は？と見に行くと摂食中(2&3)。
どうやら皆さん、摂食の時間になった模様。(9 19:36)



顔をのぞかせて摂食はなかなか可愛い。(10)で、裏返すと、何と二頭(10&11)。
11は2歳、10は4歳？(19:42)



きりがないので、印象にのこったものを。今回複数頭発見があり、これも↓(19:46)



1齢幼虫も一頭で摂食中。サトキマ?
(18 20:00)



大きな幼虫も。亜終齢?(23 20:10)



安平尾根のヤマキマ



この様に摂食中だと葉脈の数の水滴が

水滴があれば、摂食していなくても、裏についている。



安平尾根で写真で確認できた頭数は、
17:56～20:21で23頭。

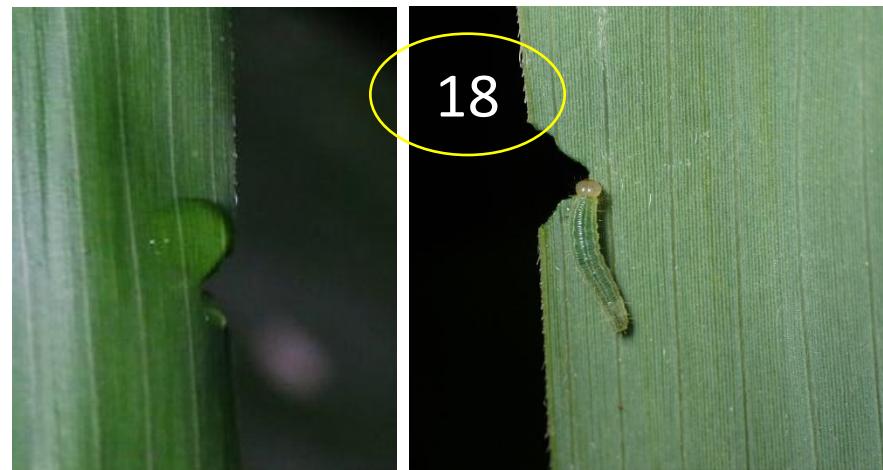
撮影を重ねているうちに、ふと気がついた
ことが…。

①当初は葉の表で発見できた幼虫だが、途中からほとんど裏～葉縁において摂食し
ていることが多かった。

②摂食中の葉から水滴が出てることに
気がついた。摂食して切られた葉脈から
水滴になって出ている。

この事に気がついたのが観察中の後半。
幼虫の発見が格段に楽になった。

一齢の小さな食痕でも、水滴。



安平林道のサトキマ



ここでも、摂食の水滴が

大きな幼虫がいた。



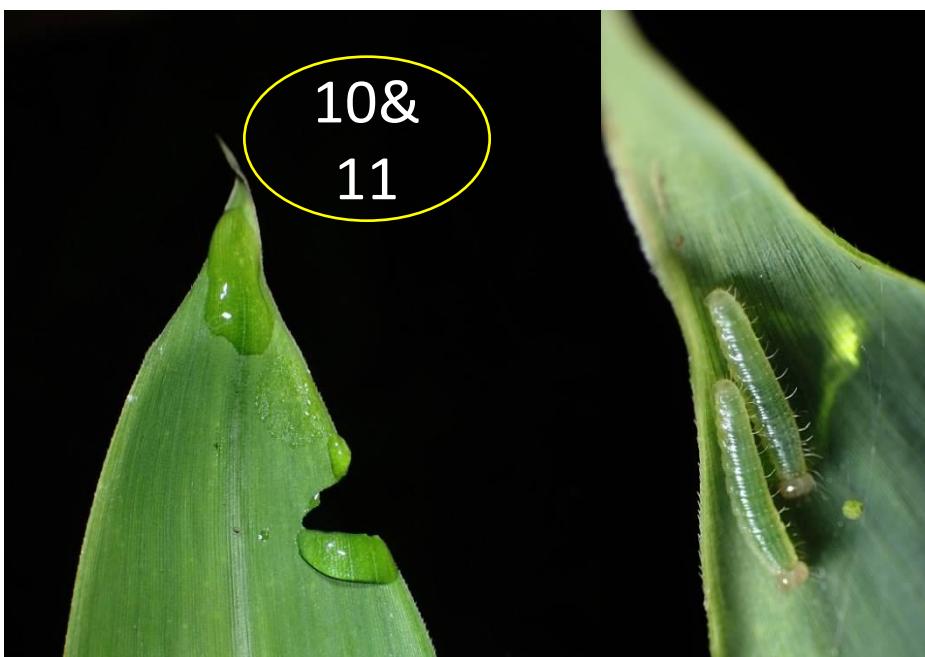
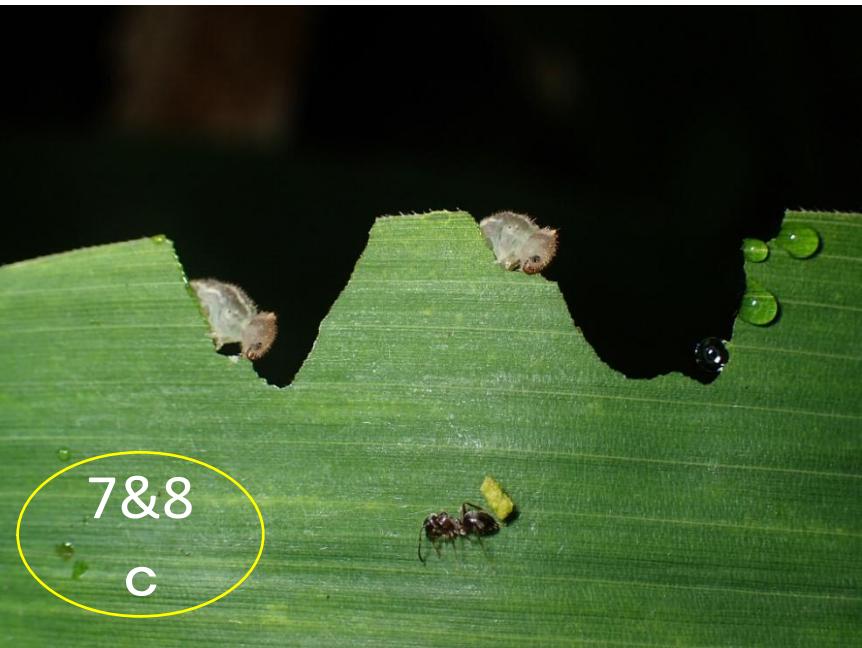
気をよくして、林道に降りる。

完本ではサトキマは「きわ立った夜間活動性は見せなかった」とある。しかしそのことが「夜間摂食性は弱い」ということと同意ではないので、尾根と同様に見つかるのでは?ということで、行ってみた。

20:38~56の写真から数えて、13頭の幼虫を発見できた。

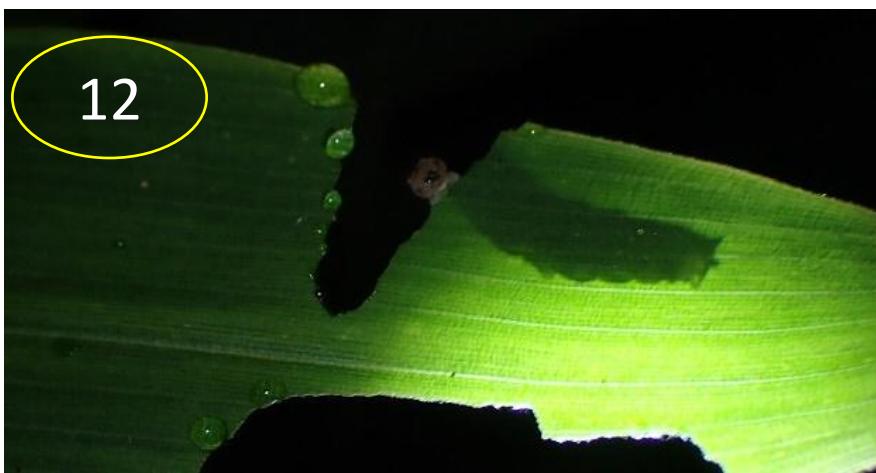
やはり水滴が見つけるポイントになった。尾根の後だったので、時刻も遅くなり、摂食は小休止の様な気がする。

安平林道のサトキマ



ここでも、大きな個体(9)、1齢(10&11)が発見できた。
また同じ葉に複数の個体も(7&8)。
ご覧頂くと、葉の表面に水滴がついていることがわかる。

摂食中は顔だけ出すような感じになり、みなさん、かわいい！



ウスイロPのサトキマ?

摂食の水滴が乾いた? → 幼虫発見



水なしで、幼虫未発見(食痕あたらしい)



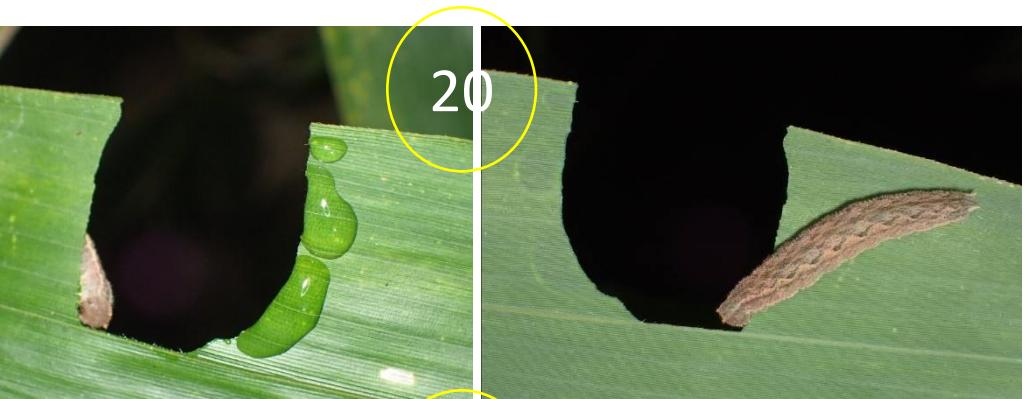
水ありだが幼虫未発見

当初は考えていなかったが、安平の楽しさに、ついでに美沢ウスイロPにも行ってみた。

水滴法で探すが、ここでは当てはまらない場合もあった。(綺麗な水滴があっても幼虫が見つからなかつたことが数件)



ウスイロPのサトキマ



それでもここでは、22:01～22:46で23頭発見できた。

ここでは、典型的な写真を。摂食中で水滴があったもの(20、22)
水滴があり、休んでいるもの(23)

また、ここではハチが活発に活動していて、寄生？狩り？と思ってしまいました。



今回の観察から

- ①夜間の摂食は日が暮れるあたりから始まり、始まるとあちこちで、というジャノメ・ベニヒ達と同様な状況になった。
 - ②ネオペくんたちが成虫になってから割とダラダラいることを考えると、幼虫の発育が小～大にわたっていることは納得。
 - ③葉から出る水滴は、乾いていることもあるが、幼虫の調査には非常に有効に感じた。乾くのは時刻が遅い(＝摂食後時間が経っている)ためだと考えられる。雨だと使えないのが欠点か。
 - ④翌日の1齢調査では、集団がなくなっていた。解散は割と早いかも。
- ☆今回「夜の饗宴」になるかも!と感じたが、ネオペ君たち「かくれんぼ」の様に感じた。葉の裏にいて、顔を少し出して摂食するさまが、可愛く、ジャノメ・ベニヒたちの様に体を見て食べまくる、とは違った感覚になった。